洞爺湖町 社協だより

平成２５年
７月発行
（第１６号）

地域に安心して住み続けることができるように-福祉委員93名が就任-

５月１０日、健康福祉センターさわやかで福祉委員委嘱状交付式が行われ、新たに福祉委員９３名が菅原康次社会福祉協議会長から委嘱（任期は２年）を受けました。

社会福祉協議会では、誰もが住み慣れた地域に、安心して住み続けることができるよう、小地域ネットワークによる支援等の実現を目指し、自治会において福祉委員を設置し、それぞれができる範囲で要援護者に対する見守り活動（安否確認・声かけ訪問）をお願いしています。

福祉委員委嘱状交付式の様子

あったか洞爺のひと育て・まち育て-ボランティア研修会開催-

社会福祉協議会では今年３月、地域における住民の方々によるボランティア活動活性化の推進と、ボランティアグループ等の核となるリーダーの育成や実践者のスキルアップを目的にボランティア研修会を開催しました。

講師には、ふるさと再生塾塾長の小山忠弘先生をお招きし、今ボランティアに期待されていることや、今後のひと育て・まち育てに向けたボランティアのあり方について学びました。

研修会の様子

社会福祉協議会新評議員のご紹介

平成２５年３月２２日付並びに5月２３日付で新たに就任いたしました。
よろしくお願いいたします。

【評議員】
木村　英昭（３月２２日就任）、有田　　實（５月２３日就任）

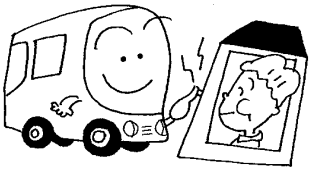
発行：社会福祉法人洞爺湖町社会福祉協議会

本　　所：〒０４９－５６０４　虻田郡洞爺湖町栄町６３番地１　　健康福祉センターさわやか内
電話７６－４３６３　FAX７６－４３６８　メール toyako-sha.abuta@jupiter.ocn.ne.jp
洞爺支所：〒０４９－５８０２　虻田郡洞爺湖町洞爺町１３２番地２　洞爺ふれ愛センター内
電話８２－５１８５　ＦＡＸ８２－５８９５　メール toyako-sha.toya@piano.ocn.ne.jp
ホームページ：http://www15.ocn.ne.jp/~toya.sha/

平成２４年度　洞爺湖町社会福祉協議会事業報告と収支決算

《福祉サービス》

- 移送サービス　１，９８３件
- 配食サービス　２，５８５食
- 車椅子レンタル　10 台
- ふれあい交流会　７３８名
- ホームヘルプサービス　１，３００名
- デイサービス　１，５６８名



《福祉事業》

- 長寿まつり開催助成　１，８３２名
- 歳末助け合い見舞金贈呈　９世帯
- 福祉活動助成事業として　総額１，９１５，８３１円
  【ふれあい交流会、福祉協力校（小・中学校）、福祉委員活動、ボランティアセンター、社協だより、単位老人クラブ（１６クラブ）、とうや子ども共和国実行委員会、単位子ども会（１６団体）、遺族会、手をつなぐ育成会（いちばんぼし）、伊達地区保護司会洞爺湖町第一分区、老人クラブ連合会、胆振身障福祉協会洞爺湖支部、ボランティア連絡協議会、住民用行事用テント】
- 社協広報誌　９月・１２月・２月発行（昨年度町回覧にて全戸配布）4,２６７世帯
- 生活福祉資金貸付相談　年間３件　貸付　３件
- 福祉金庫貸付相談　年間５件　貸付６０件
- ６５才以上名簿作成
- ボランティア研修会実施３月に開催。町内ボランティアほか６５名

《収支決算》

収入の部（単位：円）			支出の部（単位：円）		
科　目	決算額	備　考	科　目	決算額	備　考
会費	3,517, 700	一般、賛助	人件費支出	39,950,178	事務職５名 介護職７名 パート９名
寄付金収入	661,344	福祉事業を目的に			
経常経費補助金収入	28,903,515	補助金	事務費支出	2,621,916	消耗品・広報ほか
受託金収入	2,868,510	受託事業人件費	事業費支出	9,264,270	各事業運営費
事業収入	3,152,610	利用料	貸付事業等支出	1,481,000	福祉金庫
貸付事業等収入	1,316,000	福祉金庫	共同募金配分金支出	1,625,080	各福祉活動団体へ
共同募金配分金	2,117,911	赤い羽根、歳末	助成金支出	3,184,400	長寿まつり助成、傘寿お祝い
介護保険収入	17,534,920	ホームヘルプ デイサービス			
雑収入	126,112	雑収入	負担金支出	330,300	道社協、胆社協
受取利息配当金収入	3,444	決算利息	経理区分間繰入金支出	1,074,000	法人、共募、ホームヘルプ
経理区分間繰入金収入	1,074,000	地域福祉、デイ、ボラセン			
財務収入	6,420,000		財務支出	7,601,664	
前期末支払資金残高	2,137,870		前期末支払資金残高	2,701,128	
収入合計	69,833,936	―	支出合計	69,833,936	―

平成２５年度　洞爺湖町社会福祉協議会事業計画と収支予算

《基本理念》

『ともに助け合い、地域の中で幸せに暮らせる、福祉コミュニティーの実現を目指して』

《重点項目》

・住みよい地域をつくるため、支えあいの組織づくりを推進します。
・つながりと元気な高齢社会実現のため、ふれあい交流会活動をより一層推進します。
・移動支援事業の利便性向上のための総合的支援体制をつくります。
・安定した事業所運営のための効率の良い経営と財政基盤を確立します。
・職員個々の意欲を喚起し、組織の活性化に努め資質の向上を図ります。
・理解され、信頼される社会福祉協議会を目指し、各事業に対し熱い思いを持って取り組み一層の努力を進めることを約束します。

《各種事業》

・<u>各団体との連携によるネットワーク、地域づくりの推進</u>
　◆65 歳以上の世帯把握　◆福祉委員活動の推進　◆福祉ネットワークの構築
　◆関係機関と協力し、安心・安全な福祉のまちづくりの推進
　◆児童・生徒のボランティア活動の支援　◆各種ボランティア講習会への参加呼びかけ
・<u>洞爺湖町社協の情報発信と相談活動</u>
　◆広報誌「社協だより」の発行　◆ホームページによる各種情報の公開
　◆サービス調整機関との連携
・<u>住宅福祉サービスの充実</u>
　◆ふれあい交流会　◆配食サービス　◆移動支援サービス　◆車椅子レンタル
　◆生活福祉資金事業　◆介護事業（訪問介護、通所介護）
・<u>社協基盤の強化と信頼される体制づくり</u>
　◆財政基盤の強化　◆法人役員研修の実施

《収支予算》

収入の部（単位：円）			支出の部（単位：円）		
科　目	予算額	備　考	科　目	予算額	備　考
会費	3,103,000	一般、賛助	人件費支出	40,863,000	事務職５名 介護職７名 パート９名
寄付金収入	300,000				
経常経費補助金収入	32,399,000	補助金	事務費支出	2,942,000	消耗品、広報
委託金収入	3,064,000	委託事業人件費	事業費支出	10,052,000	各事業運営費
事業収入	3,346,000	利用料、償還金	貸付事業等支出	2,050,000	福祉金庫
貸付事業等収入	2,000,000		共同募金配分金	1,584,000	各福祉活動団体へ
共同募金配分金収入	2,077,000	赤い羽根、歳末	助成金支出	3,559,000	長寿まつり助成、傘寿お祝い
介護保険収入	15,084,000	ホームヘルプ デイサービス			
雑収入	130,000	雑収入	負担金	333,000	道社協、 胆社協他
受取利息配当金収入	10,000	決算利息	経理区分間繰入金支出	859,000	
経理区分間繰入金収入	859,000				
財務収入	714,000		財務支出	844,000	
収入合計	63,086,000		支出合計	63,086,000	

洞爺湖町自治会連合会新役員のご紹介

このたび、自治会連合会総会が行われ次の役員が新たに選任されました。よろしくお願いいたします。

【理　事】　前谷　休市（青葉１区自治会長）　　【監　事】　星　　博明（成香自治会長）

道町連共済30周年記念　全道町内会活動研究大会

平成２５年５月２８日、札幌市で開催された全道町内会活動研究大会（北海道町内会連合会主催）席上で、本年度の北海道町内会連合会会長表彰式が行われ、島村昌明会長（本町３区）、奥山耕一会長（温泉３区）が自治会組織会長表彰（自治会長勤続１０年以上）を受賞され、優良単位・ブロック組織表彰として、洞爺第６自治会（菅原優会長）、緑沢自治会（木須薫会長）、川東自治会（菖蒲川武志会長）の３自治会が表彰されました。

また共済事業・加入促進組織特別感謝として、洞爺湖町自治会連合会（福井政吉会長）が表彰されました。

洞老連表彰・胆老連福祉功労者表彰

平成２５年５月２０日、洞爺湖町老人クラブ連合会総会席上で、１５単位クラブより７名の方が本年度の連合会表彰（単位クラブ運営勤続８年以上）を受賞しました。

また先日、室蘭市で開催された胆振地区老人クラブ連合会総会席上で、成香明大クラブの原田　實さん、睦会の毛利美智子さん、鈴木洋子さん、内海義雄さんがそれぞれ福祉功労者表彰を受賞しました。

◆平成２５年度洞爺湖町老人クラブ連合会表彰を受賞された方々をご紹介します◆

原田　實	様（成香明大クラブ）		亀田　信子	様	（友遊クラブ）
丸田　良一	様（成香明大クラブ）		高橋　栄治	様	（睦会）
三上　幸江	様（友遊クラブ）		山田　澄子	様	（睦会）
佐藤　久介	様（友遊クラブ）				

各老連の親睦と老人クラブ活動の活性化を

-胆振西部老人クラブリーダー研修会-

６月２７日、胆振管内を小ブロック制とする「胆振西部６市町老人クラブ連合会」のリーダーが一堂に会し、胆振西部老人クラブリーダー研修会が登別市民会館で開催され、当老連会員１１名が参加し、研修・交流しました。（写真：研修会の様子）

北海道護国神社参拝-遺族会-

今年５月、北海道護国神社参拝慰霊大祭が旭川市で行われ、町遺族会会員９名がこれを参拝し、戦没者の冥福を祈りました。

揃いのスカーフで団結力アップ!-胆振身体障害者スポーツ大会-

第４３回胆振管内身体障害者スポーツ大会が６月３０日（日）厚真町で開催され、当支部から１４名が参加しました。

今大会には、支部でお揃いのスカーフを作成。団結力を一層アップして臨み健闘しました。

高得点ゲット！

次大会に向けて団結！

社会福祉協議会福祉サービスご紹介-洞爺デイサービス-

洞爺ふれ愛センターでは、介護保険の要介護認定を受けられた方々を対象に基礎体力の維持増進、入浴サービスによる身体の清潔の維持のほか、利用者家族の介護に伴う心身の負担の軽減を目的として毎週月曜日～金曜日、デイサービスを開設しています。

この日は、とうや小学校５年生１１名が体験学習を行い、利用者さんの機能訓練として、歩行強化を体験。とうや水の駅から洞爺ふれ愛センターまで歩くなどをして交流しました。

とうや水の駅にて

リサイクル品について

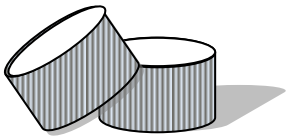
社会福祉協議会では、町内の皆さまより古切手をはじめ、空き缶のリングプルやペットボトルキャップを多数お寄せいただいております。

これらの善意の浄財は、随時、町内または町外の各回収窓口へお届けしています（古切手は年1回、道外施設にまとめて寄贈）。

お寄せいただく際には、以下の点についてご理解ご了承をお願いいたします。

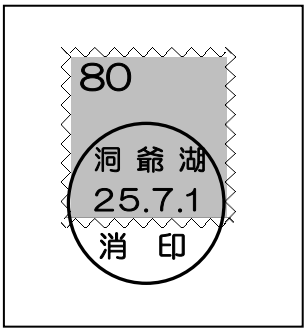
- **ペットボトルキャップ（窓口：イオン伊達店様ほか）**
  ◎回収対象は、飲料用のペットボトルキャップに限定します。飲料用以外のキャップは回収いたしません。
  ◎貼り付けのシールは剥がしてください。
  ◎必ず洗浄し、よく乾かしてください。

- **リングプル（窓口：虻田郵便局様）**
  ◎必ず洗浄し、よく乾かしてください。



- **古切手（盲老人ホーム「聖明園」様）**
  ◎消印を切らず台紙ごと切手のまわりを５ミリから１センチ程度余白を残して切り取ってください。

＜見本＞



社会福祉協議会の財源

洞爺湖町社会福祉協議会は、地域福祉推進の中核機関として、福祉諸団体、ボランティアなどの幅広い関係者との連携・協働のもと、高い公共性とともに民間法人としての自主性、創造性を発揮して、誰もが持つ願い、福祉コミュニティの実現を目指しています。

社会福祉協議会の財源は、町民の皆さまからの会費や賛助会費、寄付金、事業収入などが基盤となっているほか、町補助金や受託収入によってまかなわれています。主に賛助会費は、自治会で開催される長寿まつり事業への助成や、社協の福祉サービス事業推進に役立てられています。

社会福祉協議会は、皆さまからの会費で支えられています。

たくさんのご寄付ありがとうございました

※平成２５年２月５日～平成２５年６月３０日分まで掲載

◆寄付金

洞爺ライオンズクラブ　様　　50,000 円
川人　健一　様　　30,000 円

◆古切手

玉手　一彦　様　　藤川　政子　様　　坂井　千枝　様
鈴木　ミツ　様　　橋浦加代子　様　　猪股　健一　様
虻田郵便局　様　　池田ミサホ　様　　洞爺湖町住民課　様
洞爺湖町会計課　様

いただいた将棋などは、ふれあい交流会の余暇の時間などで使用しています。

◆リングプル

藤川　政子　様
坂井　千枝　様
山田　睦美　様

◆ペットボトルキャップ

坂井　千枝　様

◆囲碁・囲碁セット

松島　国広　様　　和田　孝道　様
福井　満吉　様　　菊入　俊雄　様

◆将棋盤（駒付）

藤川　政子　様

◆オセロ・カルタ・麻雀セット（子供用）

藤川　政子　様

◆雑巾

鈴木　ミツ　様

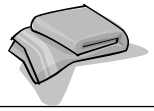
オセロなどお譲りください

ご家庭などで不要となったオセロや、かるたがありましたら、お譲りください。

社会福祉協議会が主催するふれあい交流会事業の余暇の時間に使用いたします。ご協力よろしくお願いいたします。

未使用のタオルはありませんか？

ご自宅で粗品等の未使用のタオルや手ぬぐいがありましたら、お譲りください。デイサービス等で活用させていただきます。ご協力よろしくお願いいたします。



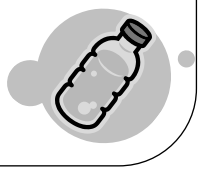
◇ボランティアを募集いたします◇

募集：収集物品の仕分・洗浄ボランティア

みなさまからお寄せいただいたペットボトルキャップ等の仕分・洗浄作業をしませんか？

個人・団体は問いません。

詳しくは、社会福祉協議会本所（電話：７６－４３６３）へ。



社会福祉協議会の広報「社協だより」にみなさんの声を

社会福祉協議会の各種事業や活動、社協だよりなどについて、日ごろ感じていることやご意見・ご感想をお寄せください。

社協だよりは、町民の皆さまからの、「社協会費」と「赤い羽根共同募金」の助成金を活用し、発行しています。